

教育目標

・自ら考え自ら学ぶ児童生徒・明るくたくましい児童生徒・思いやりのある児童生徒

研究主題

「自ら学びを調整し、多様な他者と共に未来を拓く児童生徒の育成」
～『自己決定』から『自己調整』へ、学びを繋ぎ高め合う小中一貫教育の展開～

発達段階を考慮した 教育活動



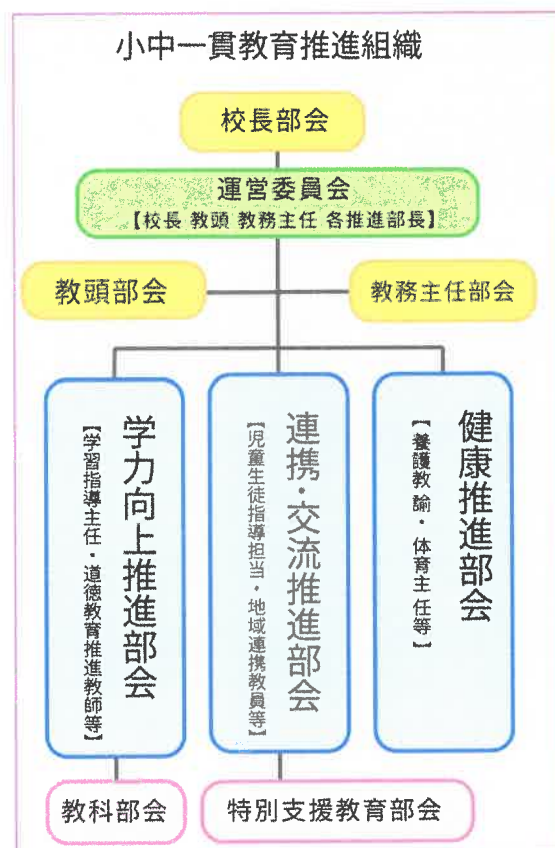
「自己決定」から「自己調整」へ

単に決めたことをやる段階から、振り返りを通して学習法を修正する質的転換を図ります。



「個別最適な学び」と「協働的な学び」

ICTを有効活用し、多様な他者対話しながら新しい価値を創造する力を養います。



第Ⅰ期（小1～4）： 基礎・自己決定

「基本的な学習・生活習慣の
定着と自己決定の経験」

【親園小学校】



自己決定の場を設け児童の好奇心を尊重して主体的に学ぶ児童の育成を目指します。学ぶ楽しさを実感できる授業を通して基礎・基本の定着を図ります。

第Ⅱ期（小5～中1）： 活用・自己調整への移行

「自己決定から自己調整への
移行と協働による深化」

【宇田川小学校】



基礎・基本の確実な定着を図るとともに、主体的・協働的な学びを通して、自分の思いを豊かに表現できる児童の育成を目指します。

第Ⅲ期（中2～3）： 発展・自己調整の確立

「自己調整学習の確立と
未来を拓く力の発揮」

【親園中学校】



「一人一人が輝き笑顔あふれる学校」を目指し、「地域と共に」をキーワードとする教育課程の実現と、児童の自己決定力・自己調整力の育成を図ります。

自ら課題を見だし、解決する授業を通して、学習を自己調整する力を身に付け「自立した学習者」へ成長していきます。